

清瀬市教育委員会教育目標
1 互いの人格を尊重し、自他の生命を大切にするとともに、思いやりと規範意識をもって行動できる人間を育成する。 2 基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、自ら考え、判断し、表現できる人間を育成する。 3 家庭・学校・地域が積極的に関わり合いながら、互いに支え合い、学び合える人間を育成する。 4 健康で活力のある生活を送ることができるよう、基本的な生活習慣を身に付けた人間を育成する。 5 清瀬の豊かな自然や風土、歴史、文化財等への関心を深め、郷土を愛する人間を育成する。 6 生涯学習及び生涯スポーツの環境づくりを一層進め、社会に貢献できる人間を育成する。

学校教育目標
清く明るく豊かな心をもち 進んで学ぶ児童の育成 ○よく見つけ よく考える子 ○親切で 思いやりのある子 ○健康で たくましい子

学校経営計画（学力向上にかかわる要点）
1 めざす学校像 「当たり前」を「当たり前」にして「当たり前」に教育における基礎・基本をしっかりと見据え、ぶれることなく、毅然として実行する 充実 子供と共に学び、常にプラス思考で、教職員の専門性が発揮できる学校 ①教育公務員としての職責を自覚し、説明責任と結果責任を果たす。 ②不断の研究・研修を通して、教師として自らの資質・能力を伸長させる。 ③教職員それぞれの個性と能力を発揮するとともに、課題解決にあたっては、力を結集して組織的に取り組む。 2 めざす子供像 よく見つけ よく考える子 ・基礎・基本の確実な習得と反復練習によるつまずきの克服 ・思考力・判断力・表現力を育む授業展開の工夫 ・言語活動の充実 3 期待する教師像 技術 児童一人一人の実態を正確に把握し、その子に応じた手立てや対策を講じる。 ⇒ 児童一人一人のプロフィール（カルテ）の確立、各種の調査や面接等の活用 ・一斉指導における個別的な対応の工夫 「プロ教師の真価は、授業中どれだけ子供一人一人の状況を見極められるかで測られる。」 姿勢 授業力向上のための飽くなき探求 ⇒ 公開授業や模擬授業を通じた相互批判と子供の事実に基づく授業分析 ・研究協議会の改革（観察対象児の記録による授業分析型の研究協議会） 「教師集団の成長は、批判を恐れぬ勇気と互いの尊重に基づく切磋琢磨から生まれる」 成長 他者からの助言を謙虚に受け止め、生涯にわたって学びのアンテナを張る。 ⇒ 自己の専門分野を見付け、専門性を高める。 ・自身のライフプランを設計する。 「学び続ける者だけが教える権利を有する。」

各教科における指導の重点
<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査、清瀬市の学力調査を基にした授業改善推進プランを作成し、系統的・継続的な学習指導を推進するとともに、保・幼・小・中の円滑な接続を図り、学力向上に資する。 ・教科センター教室での授業やICTの活用など、指導形態・指導方法の改善・工夫により児童の学習に対する関心・意欲を引き出し、学力の向上を目指す。 ・習熟度別少人数指導や改訂版東京ミニマムや東京ベーシック・ドリルの活用を図り、基礎的・基本的な学習内容の徹底した習熟を図る。 ・各教科の言語活動を重視し、思考力・判断力・表現力及びコミュニケーション能力を高めるとともに、学習過程を工夫し、学ぶことの楽しさや成就感を味わわせる。 ・読書活動指導計画をもとに「清瀬の100冊」等を効果的に活用するとともに、学校図書館運営指導員・地域読書ボランティアとの協力を推進し、読書の日常化・読書月間・朝の読書等を一層充実させる。 ・一校一取組、保健指導の充実による防衛体力の向上の両面から、児童の体力向上を目指す。 ・豊かな心の育成を目指し、日常的な歌唱指導を中心とした音楽活動の充実を図る。
道徳教育における指導の重点
<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の時間を要として、教育活動全体を通して、思いやりや互いに認めあう心、自他の生命を尊重する心の育成を進める。 ・道徳の授業では、「心のノート」「東京都道徳教育教材集」をはじめとして多様な学習材を活用し、児童自らが自己の生き方を振り返り、道徳的価値への理解を深め、道徳実践力を身に付けることができるような学習活動を展開する。

本校における「定着させたい学力」
<ul style="list-style-type: none"> ・国語・伝統的な言語文化に親しむ態度 読書を通して、思考力・想像力・言語感覚 言語活動の充実を通して、理解力・表現力 ・伝え合う力 ・社会・社会的事象を具体的に調べ、それをもとに考えたり、表現したりする力 ・算数・数学的な思考力・判断力・表現力 基礎的・基本的な知識・技能 ・理科・科学的な見方や考え方 ・音楽・音楽を感じ取って、表現の工夫をする力 ・図画工作・粘り強く取り組む能力と表現力 ・家庭・衣食住などに関する基本的な知識を家庭の中で生かす力 ・体育・技能巧緻性や能率的で安全な集団としての行動力 ・生活・公共の意識や自分たちの生活を工夫したり楽しんだりできるようにする力

外国語活動における指導の重点
<ul style="list-style-type: none"> ・外国語活動を通じて、英語指導員の活用を図りながら、言語・文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
総合的な学習の時間における指導の重点
<ul style="list-style-type: none"> ・ユネスコスクールの活動を中心に、全学年の学習活動に持続発展教育を位置付け、人間と環境、我が国の伝統文化とのかかわりについての正しい認識に立ち、自らの責任ある行動をもって、持続可能な社会づくりに参画できる実践力を身に付けた児童の育成を図る。 ・情報活用能力向上のため、情報機器等の環境を整備し、積極的に授業で活用できるようにするとともに、情報モラルについての理解・啓発を図る。 ・オリンピック・パラリンピック教育推進校として、歴史や意義を学んだり他国との文化に触れたりする。また、オリンピック・アスリートとの交流を通じた学習を行う。
特別活動における指導の重点
<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動と体験的な活動を通して集団への所属感を深め、秩序と規範意識の醸成を図る。 ・児童にとって、自発的・自主的なクラブ活動や自治的な児童会活動を実施し、個性の伸長と学校生活の充実を目指すとともに、生涯学習への素地をつくる。 ・学年縦割り班活動による異文化交流を集会活動や休み時間を活用して推進し、児童相互の親和関係を養う。

キャリア教育の重点
個性や能力の伸長を図り、自分を振り返ったり、自分の進路を考えたりさせて、自己の生き方を考えさせる。

生活指導の重点
児童理解を基盤にして、家庭・地域との連携を図り、規範意識を育て、基本的生活習慣や集団生活のきまりを身に付ける。

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や修養の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的事項を一人一人に身に付けさせることを重視する。 ・児童理解を深め、一人一人の学習状況を確実に見取り、認め励ます指導を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続発展教育の考え方に基づき、地域の特色ある自然・文化・施設等を積極的に学習に取り入れる。 ・読書活動の推進を通して、豊かな心の育成と学力の基礎を支える読解力の向上に努める。 ・児童の言語能力と思考力・判断力・表現力の伸長を図るため、教育活動全体を通して発達段階に応じた言語活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上部会を中心に組織的に研究を進める。研究主題を「思考力・判断力・表現力の育成～算数科における学び合う活動の工夫を通して～」とし、言語活動を活性化させるための教材開発や学び合う活動の工夫について研究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・週の指導計画を充実させ、計画的な評価活動を行う。 ・特別支援校内委員会を核とし、子供の状況・情報の共有化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「信頼」をキーワードとし、保護者が安心して我が子が預けられ、保護者・地域とのコミュニケーションを大切にすること。 ・学校の教育情報を積極的に公開し、教育活動への理解と協力を求めるとともに、保護者・地域の声に積極的に耳を傾ける。